

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 セレスポ

コード番号 9625 URL <http://www.cerespo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 稲葉 利彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 村田 修一

TEL 03-5974-1111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,306	△16.1	△140	—	△102	—	△20	—
23年3月期第1四半期	1,557	1.4	△187	—	△182	—	△133	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△3.69	—
23年3月期第1四半期	△24.32	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	6,401	3,509	54.8	639.61
23年3月期	6,428	3,573	55.6	651.29

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 3,509百万円 23年3月期 3,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の配当予想額は未定であります。

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,150	△11.3	△230	—	△190	—	△84	—	△15.31
通期	7,200	△2.4	△30	—	20	—	25	—	4.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	5,703,500 株	23年3月期	5,703,500 株
24年3月期1Q	216,848 株	23年3月期	216,848 株
24年3月期1Q	5,486,652 株	23年3月期1Q	5,487,918 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項.....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有な会計処理.....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	3
4. 四半期財務諸表.....	4
(1) 四半期貸借対照表.....	4
(2) 四半期損益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	7
5. 補足情報.....	7
(1) 部門別売上高.....	7

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、今年3月11日に発生した東日本大震災および原発事故の影響等により、国内景気は急速に落ち込み、今夏の電力供給の制約等の影響もあり、先行き不透明な状況にあります。

このような状況の中、売上高に関しましては東日本大震災の影響を受け、スポーツおよびその他が増収となったものの、セールスプロモーション、コンベンション、セレモニー、フェスティバル、レクリエーションの各部門が減収したことにより、売上高全体では減収となりました。

利益に関しましては、売上原価ならびに販売費及び一般管理費の経費削減により営業損失の赤字幅が減少し、また、投資信託の収益分配金の増加による営業外収益の改善により経常損失の赤字幅が減少しました。

なお、適格退職年金制度から確定拠出年金制度の移行による退職給付制度の一部終了益として特別利益109百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,306百万円(前年同期比16.1%減)、営業損失は140百万円(前年同期の営業損失は187百万円)、経常損失は102百万円(前年同期の経常損失は182百万円)、四半期純損失は20百万円(前年同期の四半期純損失は133百万円)となりました。

各部門別の状況は次のとおりであります。

[スポーツ]

昨年に引き続き日本陸上選手権大会の受注に加え、国民体育大会馬術競技大会(リハーサル)の受注回復等により、売上高は306百万円と前年同期比31.4%の増収となりました。

[セールスプロモーション]

販売促進等の減少により、売上高は268百万円と前年同期比22.1%の減収となりました。

[コンベンション]

記念式典等の減少により、売上高は268百万円と前年同期比25.6%の減収となりました。

[セレモニー]

地鎮祭・竣工式等の減少により売上高は241百万円と前年同期比22.1%の減収となりました。

[フェスティバル]

地域振興イベント等の減少により売上高は138百万円と前年同期比41.9%の減収となりました。

[その他]

テントの売渡し・貸し出しの需要が増加したことにより、売上高は51百万円と前年同期比797.0%の増収となりました。

[レクリエーション]

運動会の減少等により、売上高は31百万円と前年同期比50.8%の減収となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資 産)

当第1四半期会計期間末の資産は前事業年度末に比べて26百万円減少し、6,401百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が85百万円増加したものの、現金及び預金が87百万円減少したことによるものであります。

(負 債)

当第1四半期会計期間末の負債は前事業年度末に比べて37百万円増加し、2,892百万円となりました。これは主に退職給付引当金が224百万円減少したものの、借入金が127百万円、その他が148百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比べて 64 百万円減少し、3,509 百万円となりました。これは主に利益剰余金が 36 百万円、その他有価証券評価差額金が 27 百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては未定としておりましたが、第2四半期累計期間の売上高は 3,150 百万円 (前年同期比 11.3%減)、営業利益は△230 百万円 (前年同期の営業利益は△152 百万円)、経常利益は△190 百万円 (前年同期の経常利益は△141 百万円)、四半期純利益は△84 百万円 (前年同期の四半期純利益は△121 百万円)、通期の売上高は 7,200 百万円 (前年同期比 2.4%減)、営業利益は△30 百万円 (前年同期の営業利益は△235 百万円)、経常利益は 20 百万円 (前年同期の経常利益は△198 百万円)、当期純利益は 25 百万円 (前年同期の当期純利益は△262 百万円) となる見込みであります。

詳細は、本日付開示「特別利益の計上および業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報 (その他) に関する情報

(1) 四半期財務諸表の作成に特有な会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	613,004	525,505
受取手形及び売掛金	891,197	977,158
有価証券	76,112	27,058
原材料及び貯蔵品	19,520	18,141
未成請負契約支出金	19,569	28,671
その他	79,644	94,181
貸倒引当金	△54,067	△56,800
流動資産合計	1,644,981	1,613,915
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	428,393	422,351
土地	3,310,250	3,310,250
その他（純額）	152,734	152,077
有形固定資産合計	3,891,378	3,884,679
無形固定資産	59,665	55,897
投資その他の資産		
その他	900,403	906,791
貸倒引当金	△67,991	△59,720
投資その他の資産合計	832,412	847,070
固定資産合計	4,783,455	4,787,646
資産合計	6,428,437	6,401,562
負債の部		
流動負債		
買掛金	576,036	574,725
短期借入金	200,000	300,000
未払法人税等	28,914	8,366
賞与引当金	26,169	34,749
1年内返済予定の長期借入金	622,230	657,473
その他	278,573	378,999
流動負債合計	1,731,923	1,954,313
固定負債		
長期借入金	661,226	653,763
退職給付引当金	292,234	68,036
役員退職慰労引当金	45,470	43,400
資産除去債務	40,656	40,727
その他	83,514	132,011
固定負債合計	1,123,102	937,939
負債合計	2,855,025	2,892,253

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期会計期間 (平成23年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 370, 675	1, 370, 675
資本剰余金	2, 155, 397	2, 155, 397
利益剰余金	115, 787	79, 090
自己株式	△62, 060	△62, 060
株主資本合計	3, 579, 800	3, 543, 102
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6, 388	△33, 793
評価・換算差額等合計	△6, 388	△33, 793
純資産合計	3, 573, 411	3, 509, 308
負債純資産合計	6, 428, 437	6, 401, 562

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	1,557,891	1,306,766
売上原価	1,150,441	916,600
売上総利益	407,450	390,166
販売費及び一般管理費	594,468	530,360
営業損失 (△)	△187,017	△140,194
営業外収益		
受取配当金	7,072	32,467
貸倒引当金戻入額	—	8,156
その他	1,918	1,722
営業外収益合計	8,990	42,347
営業外費用		
支払利息	4,119	4,335
営業外費用合計	4,119	4,335
経常損失 (△)	△182,146	△102,183
特別利益		
有価証券売却益	—	10,925
投資有価証券売却益	19,110	6,762
退職給付制度終了益	—	109,279
特別利益合計	19,110	126,966
特別損失		
投資有価証券売却損	15,261	12,218
固定資産除却損	186	72
事務所移転費用	2,725	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31,136	—
その他	2,772	—
特別損失合計	52,081	12,291
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△215,118	12,491
法人税、住民税及び事業税	5,367	5,371
法人税等調整額	△87,040	27,357
法人税等合計	△81,672	32,728
四半期純損失 (△)	△133,445	△20,237

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 部門別売上高

当社の事業は、イベント総合請負業並びにこれらの関連業務の単一事業セグメントであります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんが、部門別の売上高は次のとおりです。

部 門	主要内容	(単位：千円、%)	
		当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	
		金 額	前年同期比
スポーツ	ゴルフ・国体・インターハイ	306,102	131.4
セールスプロモーション	展示会・見本市	268,868	77.9
コンベンション	記念式典・会議	268,234	74.4
セレモニー	地鎮祭・竣工式	241,882	77.9
フェスティバル	市民祭・産業祭	138,990	58.1
その他	上記および下記以外	51,334	897.0
レクリエーション	運動会・納涼祭	31,352	49.2
合 計		1,306,766	83.9

(注) 1. 上記金額には消費税は含まれておりません。

2. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。